

# 令和4・5年度 第2回国有林モニターアンケートの結果

林野庁では、国有林について幅広く国民の御意見・御要望をいただき、国有林野の管理経営に役立てるとともに、国有林野事業に対する理解を深めていただくなど、国民との双方向の情報・意見の交換など対話型の取組を行う「国有林モニター制度」を設けています。

四国森林管理局では、令和4～5年度の2年間で任期とするモニターを公募し、四国4県にお住まいの27名に依頼しております。

今回は「森林・林業・国有林」について、「令和5年度四国森林管理局の重点取組事項」等を中心に、国有林モニターの皆様にアンケートに御協力いただきましたので、その結果を紹介します。

アンケート結果につきましては、今後の四国森林管理局の取組を進めて行く上での貴重な御意見として参考にさせていただきます。

## ○アンケート実施概要

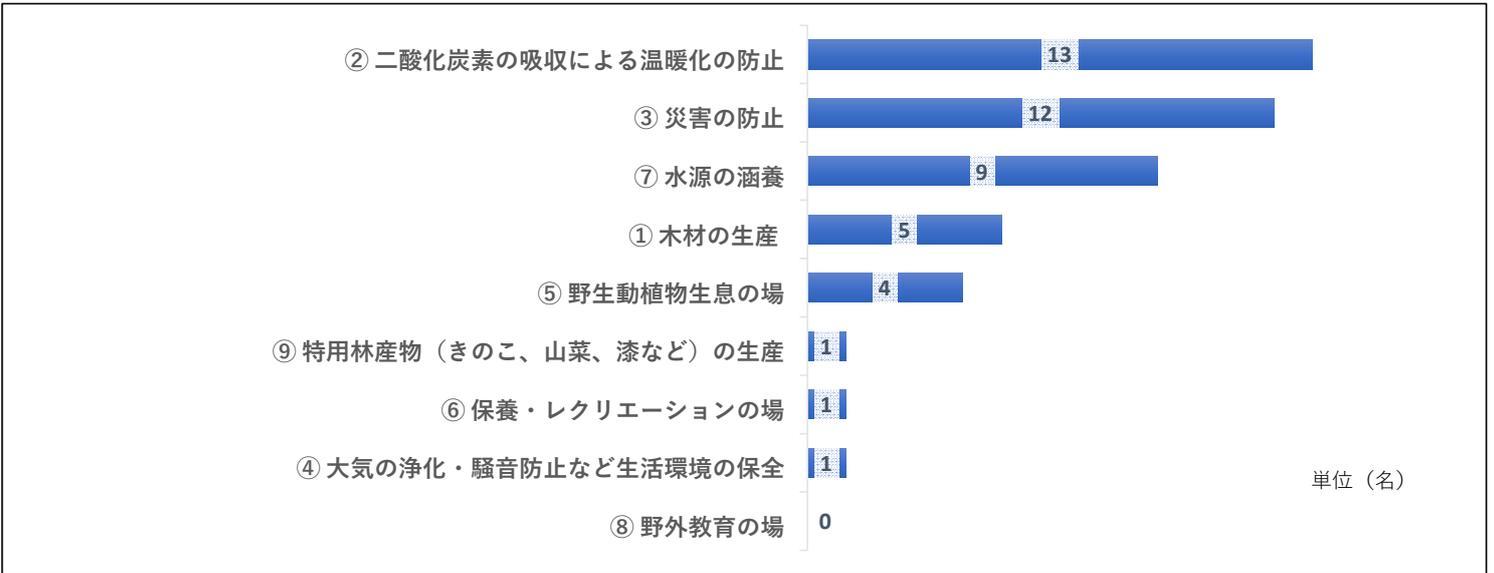
依頼者数:27名

回答者数:23名(回収率85%)

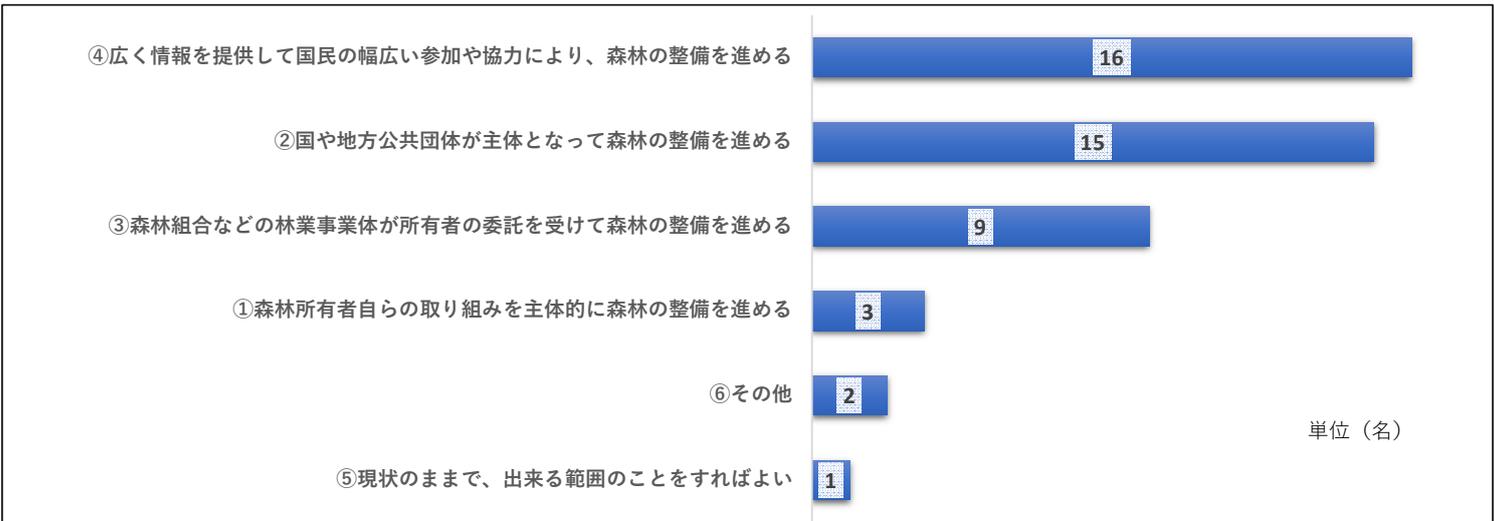
※ 回答については、同旨の回答を統合したり、意味の変わらない範囲で文言を修正し、とりまとめています。

## I 森林の整備について

問1 あなたは、森林についてどのような働きを連想しますか。(最もあてはまると思う選択肢を3つまで選択)



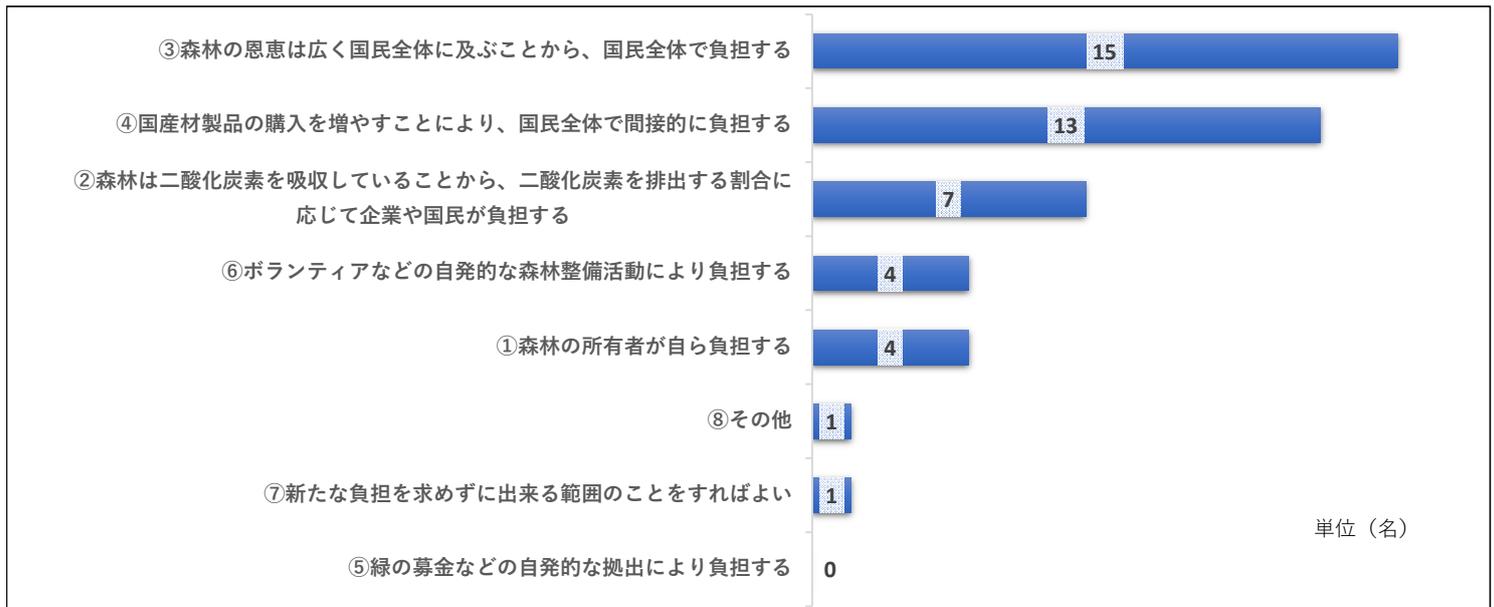
問2 あなたは、今後、これらの働きを持続的に発揮させていくうえで、誰が主体となって積極的に森林の整備を進めるべきだと思いますか。次の中から2つ選択してください。



### ❁ 「⑥その他」で頂いたコメント(※抜粋)

・ボランティアの力も活用すべき。

問3 あなたは、森林整備を推進していくために必要となる費用に対する負担はどうあるべきだと思いますか。次の中から2つ選択してください。



❖ 「⑧その他」で頂いたコメント(※抜粋)

- ・森林所有者の確認・団地化を目指して有効な機械化を目指すと同時に再造林に関してゾーンの的に元あった自然林を造っていく。
- ・クラウドファンディングを活用すべき。

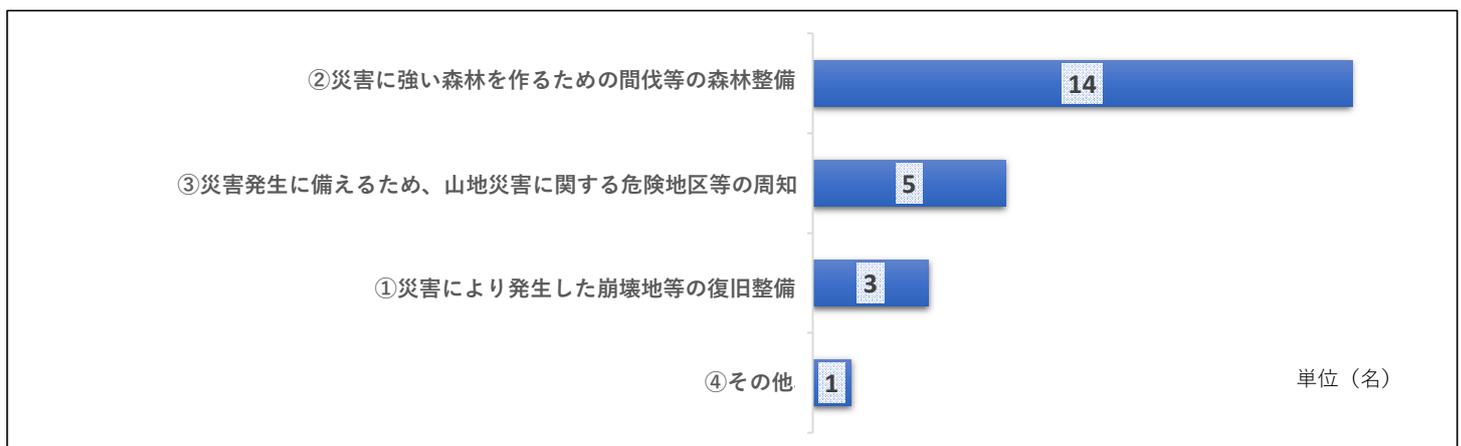
## Ⅱ 治山事業について

日本は、険しい山が続く複雑な地形で、川の流れは狭く急流が多い特徴があり、山崩れや土石流、地すべりなどの山地災害の危険性を常に抱えているといえます。

特に近年は、全国各地で台風や局地的な集中豪雨による災害が多発しています。

四国森林管理局では、国有林の多くが四国の中央部を東西に貫く四国山地や重要な水源の源流域に位置していることから、国土保全対策として、管内の国有林の93%を保安林に指定し、森林が持つ水源かん養、土砂の流出や崩壊の防止等多様な機能の維持向上のための森林整備を積極的に進めています。また、集中豪雨や地震等により発生した崩壊地等を治山施設の整備により早期に復旧し、下流への被害を未然に防止するなどの治山事業にも取り組んでいます。

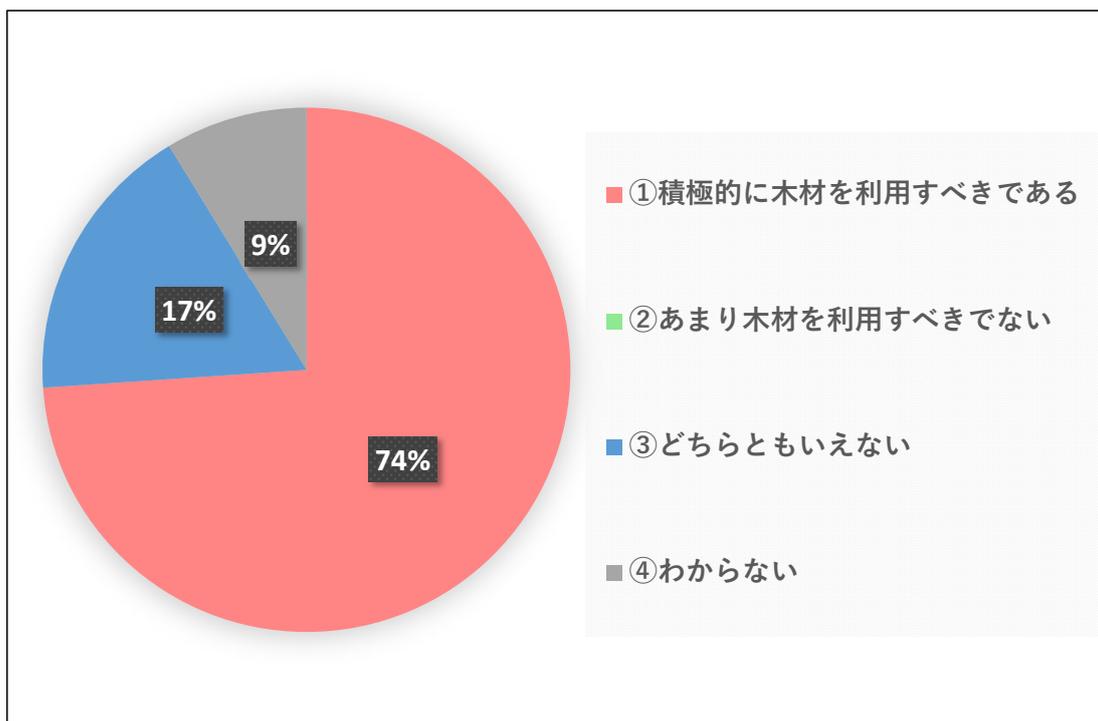
問4 生活の安全・安心向上のため森林を管理していく上で、どのようなことに最も優先的に取り組む必要があると思われますか。



❖ 「④その他」で頂いたコメント(※抜粋)

- ・山自体の含んだ水が飽和状態とならないよう、地下に水タンクを作り、常に排水する。
- ・スギ・ヒノキの人工林から元の自然林へ、ゾーンを選んで再造林する

問5 治山事業等では、二酸化炭素の固定に資する観点等から治山ダム工事等において、木材・木製品の使用を推進しています。谷止工や土留工等に木材を積極的に取り入れるなど、間伐材の利用促進等に取り組んでいます。治山施設等に木材を利用することについてどのようにお考えですか。



#### 🌸 頂いたコメント(※抜粋)

##### ①積極的に木材を利用すべきである

- ・環境のためにも、実行できることから進めていってほしい。
- ・日本国内の木材資源を活発に利用することが大切だと思います。近年、地球温暖化により自然災害が多発している中で、積極的に木材を利用することは良いと思います。
- ・環境に配慮した社会設備などにとって不可欠なため
- ・自然の物は、後に自然に帰る。高い経費かもしれないが利用すべき。
- ・間伐材の利用は有意義！何もせず捨てるのは木に対してもかわいそう！利用価値があるはずなので、間伐材についてアピールするのが良いのでは？
- ・木材は日本の気候に最も合致した材料であり、防災(火事)に強い木材を研究すべきだと考えています。
- ・間伐材を使用することによって、山全体の空間を作り成育に生かされるから。
- ・持続可能な資源であるから。
- ・木材を使つてはいけない理由がないと思うため。また、施工費用の軽減につながるのではないかと考えるため。

##### ②あまり木材を利用すべきでない

##### ③どちらともいえない

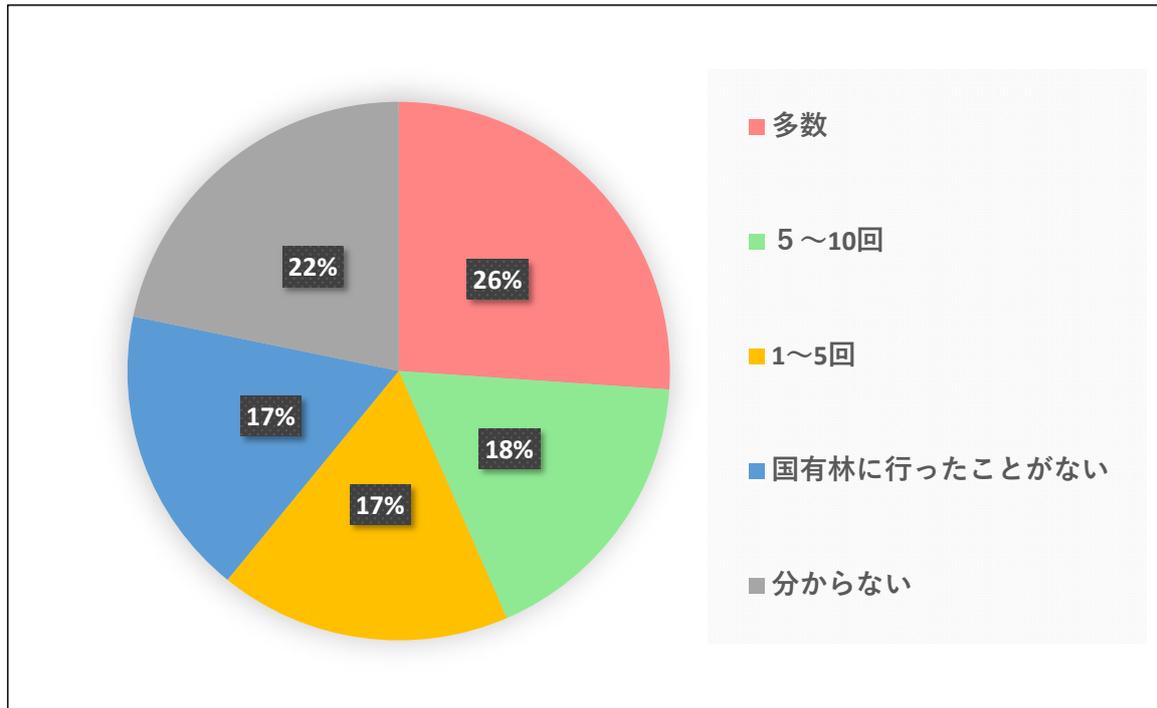
- ・自然災害に対応できるものであれば問題ないと思いますが、木材もいつかは老朽化するものであり、(その対応に)多大なる経費がかかりそうなのが気になります。
- ・あらゆる場面で木材が使われることには大賛成なのですが、コストの面や耐久性など考えると疑問が残ります。
- ・治山工事も必要だが、スギ・ヒノキのみの人工林というあり方だけでなく、森林の健全化も同時に推進していく。
- ・場所によっても条件が異なるのではないかと考えます。

##### ④わからない

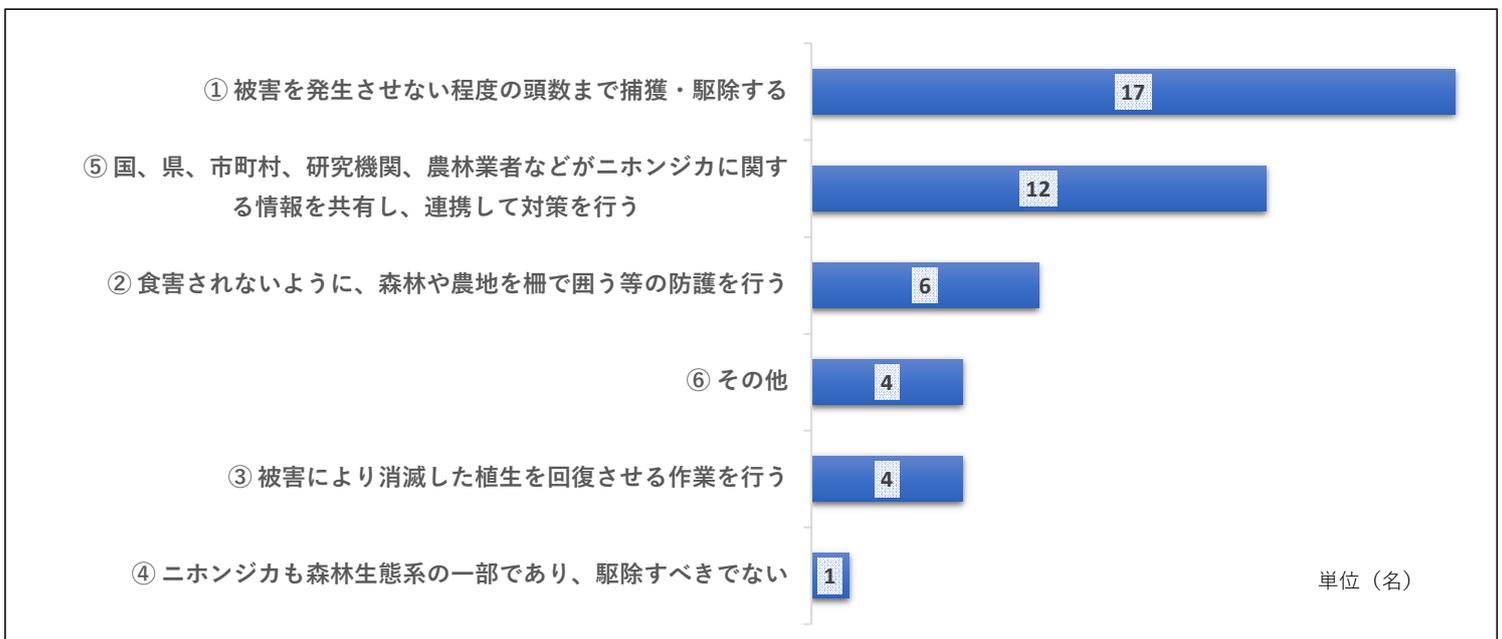
- ・ほかの材料と比較して強度や耐久性などが十分に認められるならば積極的に利用すべき。

## Ⅱ その他

問6 あなたは国有林に何回訪れたことがありますか。国有林モニターの活動を除いた回数を御記入ください。



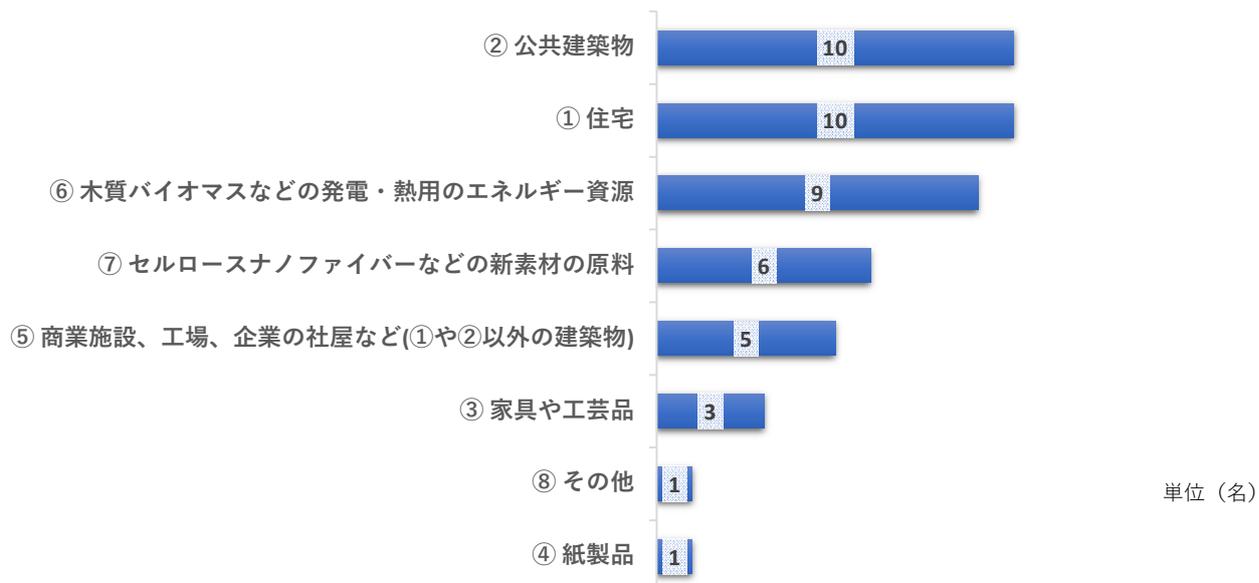
問7 近年、ニホンジカによる森林や農作物への被害が増えています。あなたは、この対策としてどのような取組が特に重要と思いますか。次の中から2つ選択してください。



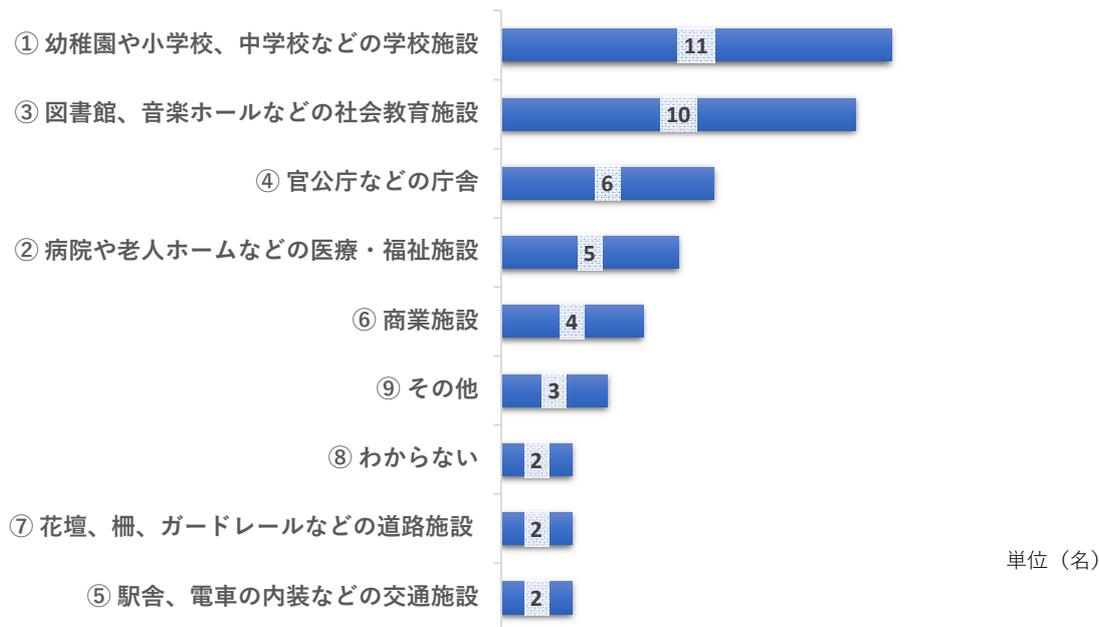
### ☆ 「④その他」で頂いたコメント（※抜粋）

- ・シカを食する文化や、食べ方も必要。
- ・⑤の情報を共有して捕獲したシカの有効利用を法律の中に組み入れる。
- ・捕獲と防護を考える必要がある。
  1. 生態環境管理: 生態系のバランスを保ち、生物多様性を維持、管理する。
  2. 個体群管理: 絶滅しない最小個体数と社会的許容限界範囲で好ましい個体数。
  3. 被害管理: 被害を許容範囲以下にする。
- ・人とニホンジカの住み分けのため、生息(生活)圏の境界線をはっきりさせる。

問8 あなたは、木材の利用が、どのような分野で進められることが望ましいと思いますか。次の中から2つ選択してください。



問9 国や地方公共団体では、公共の建築物等への木材の利用を進めています。あなたは今後、どのような建築物などに木材を利用していくことが望ましいと思いますか。



❖ 「⑨その他」で頂いたコメント(※抜粋)

- ・用途を問わない。建築材でないとダメ、紙製品でないとダメというところから抜け出すためには、事業者が受ける制約を少なくするべきであり、規約等についても緩和する方向に見直すべきである。
- ・もっと公共の建築物で利用し、「日本の木を使っています！」とアピールしたら社会の考え方も変わってくるのでは。

## II 四国森林管理局の取り組みについて

問10.「令和5年度四国森林管理局の重点取組事項」について、特に関心の高い事項を選択し、○をしてください(全体で最大3つまで)。また、理解ができなかった、難しい事項についても選択し、○をしてください(全体で最大3つまで)。

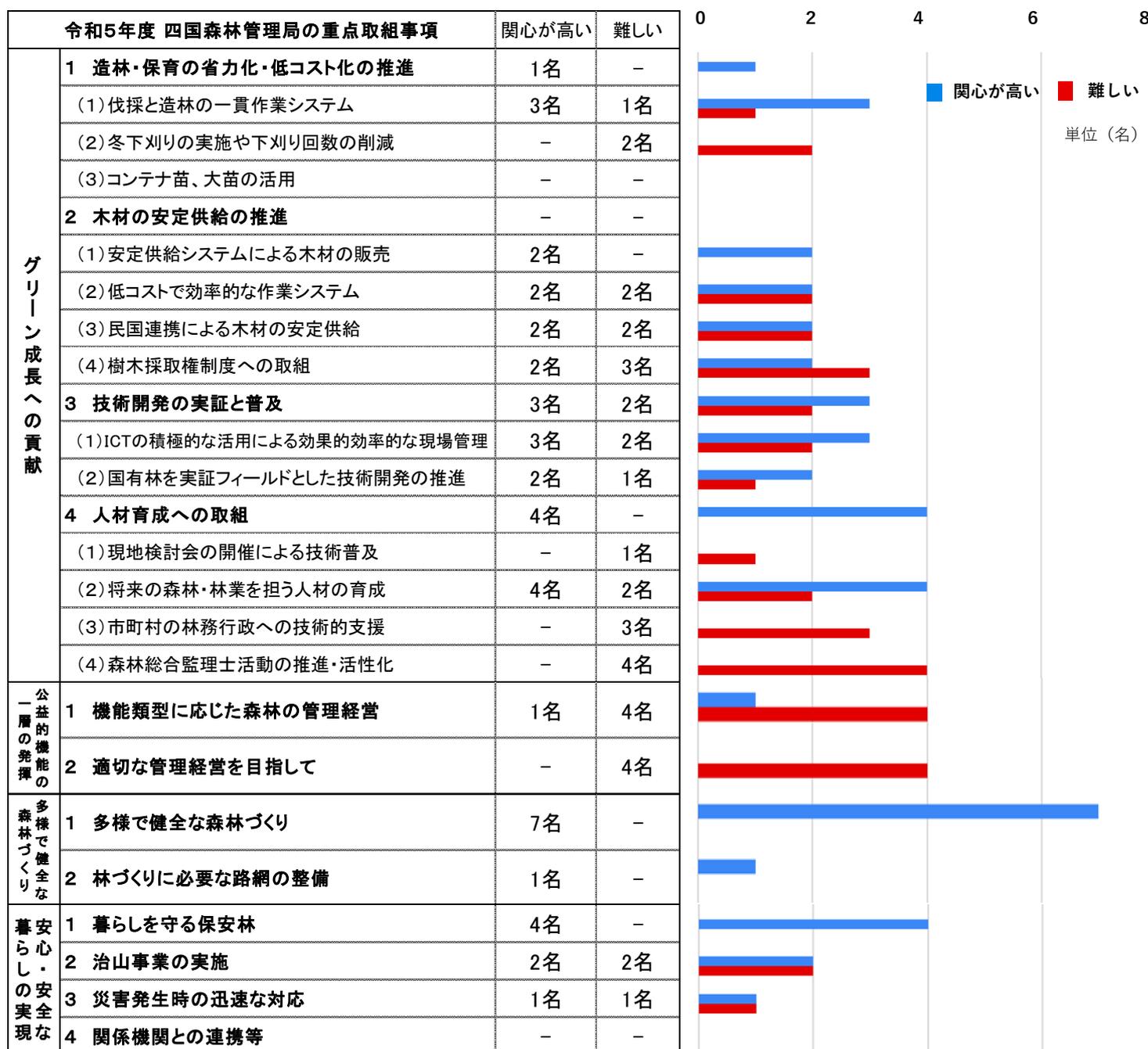
(回答結果)

関心が高い事項として特に回答が多かったのは、「多様で健全な森林づくり」(7名)で、次いで、「将来の森林・林業を担う人材の育成」、「人材育成への取組」、「暮らしを守る保安林」(共に4名)でした。

一方で、理解が難しい事項として特に回答が多かったのは、「森林総合監理士活動の推進・活性化」、「機能類型に応じた森林の管理経営」、「適切な管理経営を目指して」(共に4名)でした。

大きなくくりを見た場合、重点取組事項の中でも、「グリーン成長への貢献」に資する取組や、「国民の森林」としての管理経営」に資する取組、及び「多様で健全な森づくり」に資する取組に特に関心を寄せていただいていることが分かりました。

また、専門用語が多く理解が難しかったとの声や、取組について具体的な内容を知りたいといった声も寄せられており、今後はさらに分かりやすい紹介に努めてまいります。



令和5年度 四国森林管理局の重点取組事項		関心が高い	難しい	0	2	4	6	8
保護・森林管理	1 保護林	2名	1名	■ 関心が高い ■ 難しい				
	(1)森林生態系保全地域	2名	-	■ 関心が高い ■ 難しい				
	(2)生物群集保護林	-	1名	■ 関心が高い ■ 難しい				
	(3)希少個体群保護林	-	-	■ 関心が高い ■ 難しい				
	2 緑の回廊	1名	-	■ 関心が高い ■ 難しい				
獣害対策の推進	1 シカ被害対策の推進	-	1名	■ 関心が高い ■ 難しい				
	(1)小型囲いわな「こじゃんと1号・2号」	3名	-	■ 関心が高い ■ 難しい				
	(2)「わな見回り」の軽減	1名	-	■ 関心が高い ■ 難しい				
「国民の森林」としての管理経営	2 ノウサギ被害対策等の推進	1名	-	■ 関心が高い ■ 難しい				
	1 森林とのふれあいの場	2名	-	■ 関心が高い ■ 難しい				
	(1)森林環境教育の推進	2名	1名	■ 関心が高い ■ 難しい				
	(2)日本美しの森 お薦め国有林	2名	-	■ 関心が高い ■ 難しい				
	2 地域の「木の文化」継承への貢献	-	-	■ 関心が高い ■ 難しい				
	3 情報発信の強化	2名	-	■ 関心が高い ■ 難しい				
	(1)訪人外国人向けのパンフレット	-	1名	■ 関心が高い ■ 難しい				
	(2)牧野富太郎が歩いた「国有林」	2名	-	■ 関心が高い ■ 難しい				
	(3)大正から昭和初期の林業関係写真の公表	-	-	■ 関心が高い ■ 難しい				
	(4)国有林モニター制度	3名	-	■ 関心が高い ■ 難しい				
(5)広報誌「グリーン四国」	-	1名	■ 関心が高い ■ 難しい					
(6)「四国の山々たんね歩記(あるき)」	1名	-	■ 関心が高い ■ 難しい					

### ☆ 関心が高い事項で頂いたコメント(※抜粋)

#### I グリーン成長への貢献

##### ○ 2(2)低コストで効率的な作業システム

・一番理想的な方法なので、一つでも実現し継続して行ってほしいと思う。

##### ○ 2(3)民国連携による木材の安定供給

・現在、植林後50年以上たっている木材が枝打ちなどの手入れがなされておらず放置されている事例が多く存在するが、現実としてどのように対処していくのか興味があります。

##### ○ 3技術開発の実証と普及

・最新ドローンや3Dレーザの活用は大変良い取り組みだと思います。ドローンについては、今まで気が付かなかった森林の状況等も分かるので良いと思います。  
 ・UAVの活用、3Dレーザの活用については今後も期待が持てます。山林作業の危険・きついイメージの転換にもなります。

##### ○ 4人材育成の取組

・積極的な人材育成の取り組みが良い結果につながると思います。また、小学校、中学校などへの取り組みも将来につながると思います。ご苦労様です。  
 ・とにかく森林のことを理解している人や、関わっていく人を増やしていくことが、時間はかかるが長期的に見て根本的な状況改善につながっていくと考える。

#### II 公益的機能の一層の発揮

##### ○ 1機能類型に応じた森林の管理経営

・4タイプのそれぞれの機能発揮・維持に向けて取組んで下さい。大変重要と存じます。

#### III 多様で健全な森林づくり

##### ○ 1多様で健全な森林づくり

・林業という産業ベースの森林を維持管理していくことは重要だと思うが、他の機能に関して保全・推進していくことは国でなければならないとても大切な部分だと感じる。  
 ・針広混交林など多様な森林づくりはまさに百年計画といった長いスパンが必要です。長期の観点からの後世に残す森林づくりには関心を持っています。  
 ・地球規模の温暖化等を原因として自然災害が世界、日本各地で起こっているが、保安のための森林、暮らし・治山としての森林の重要性に注目しています。

- ・このような森林づくりが実現されれば、人はもっと森林を身近に感じ、出かけていこう。人工物ではなく自然なもので囲まれている生活を心地よく感じる子供が増えて欲しい。
- ・過去に人工林となったまま現在は手入れができずに荒廃してしまっている場所ができるだけ自然の森に近い姿に置き換わっていくことを願うため、関心がある。生物多様性、水源涵養といった面からこういう政策があることが希望だと思う。木材生産箇所でも、このような誘導をしているのか知りたい。

#### IV 安心・安全な暮らしの実現

##### ○ 2治山事業の実施

- ・木材、木製品の利用が進められていることは知らなかった。これからも進めてほしい。
- ・国有林内の治山は当然ですが、民有林の治山についても、県・市町村と連携を取り、国民全体が納得する治山事業とその措置（民有林→公有林）を取っていただくことを希望します。

#### V 森林の保護・管理

##### ○ 1保護林

- ・保護林や緑の回廊は十分な面積があるのか気になる。今後増やせるなら増やしてほしい。

##### ○ 2緑の回廊

- ・分断された動植物の移動のため、重要なものであると考えている。

#### VI 獣害対策の推進

##### ○ 1(1)小型囲いわな「こじゃんと1号、2号」

- ・現在、各地で獣害被害が増加していますが、囲いわなの貸し出し等の検討も視野に入れていただけるとありがたいです。

#### VII 「国民の森林」としての管理経営

##### ○ 1森林とのふれあいの場

- ・森林を維持する面においての土台となる部分は他の事項になると思うが、自分が主体となって関わっている部分として森林を活用した自然体験を通じて多くの人の関心や意識を高めていきたい。
- ・幼児、小学校の頃から、山と関わる（触れ合う）機会を教育現場で持つべきだと思う。山や海、自然と向き合う機会が教育現場から消えてきたように思う。

##### ○ 3情報発信の強化((2)牧野富太郎が歩いた「国有林」)

- ・少子化の時代に国内・国外の方々に関心を持っていただき、訪日外国人向けのパンフレットの取組が大変良いと思います。現在NHKにて放送されている牧野富太郎さんへの関心により、高知へ旅行に行く人が増えています。そのチャンスを生かして情報発信を行うのも良いと思います。
- ・今、絶好の機会がやってくるので、このチャンスを逃す手はない。全国の人々を四国の森へ呼びましょう！！

#### その他(森林管理の重要性の周知広報活動)

- ・森林管理の重要性については、関心のある人や実際に山に登る人以外の方には理解されていないと思います。その周知広報活動として各県庁所在地の商業施設(ショッピングモール等)でパネル展などを開催して、広く広報活動を行えば良いかと思います。

### ☆ 難しいと感じた事項で頂いたコメント(※抜粋)

#### I グリーン成長への貢献

##### ○ 1(2)冬下刈りの実施や下刈り回数の削減

- ・下刈りのご苦労は理解できますが、夏期に下刈りを行えば、刈られた草がマルチングの役目を果たし、新しい芽の発生を防ぎます。冬の下刈りは草が種子造りを終え、自らの肥料化の手助けをしてしまう恐れがあります。

##### ○ 2(3)民国連携による木材の安定供給

- ・国産材をより市場に流通させていくための取組などがあるのか興味がある。国内に利用可能な森林資源が多くあるのに外国産材を使う状態は不健全なので、今後少しでも日本国内で国産材の利用を増やしていけることが理想だと思うため。

##### ○ 2(4)樹木採取権制度への取組

- ・この制度は、国有林の伐採権利を民間の事業者などが買い取って自由なタイミングで伐採して販売できるということでしょうか。

##### ○ 3(1)ICTの積極的な活用による効果的・効率的な現場管理

- ・地上3Dレーザーではどのようなことを調査して、どう生かしていくのを知りたい。ドローンは確認業務以外にも薬剤散布などほかの用途に使われているのでしょうか。

##### ○ 4(2)将来の森林・林業を担う人材の育成

- ・山に囲まれた日本で人材の育成は必須だろうが、現状では難しいこともよくわかる。それでも人材確保・育成は必要なことでしょう。

○ 4(3)市町村の林務行政への技術的支援

- ・国有林において、市町村の林務行政がどのような役割を担っているのか、どういう関わり方を目指しているのか知りたい。
- ・研修対象者(市町村職員募集人数)が1研修5名は少なすぎです。各県1名程度ではダメ。各市町村から1名以上、全体で100名単位の実施で効果があると思います。

○ 4(4)森林総合監理士活動の推進・活性化

- ・フォレスター自身のスキルアップ・保持のため、資格は5年更新制度にするべきと存じます。
- ・制度の普及、啓蒙活動と併せて、何よりもフォレスターの人材育成が課題になると思いますが、予算も含めた各種助成制度について、現状難しい面があると思いました。

II 公益的機能の一層の発揮

○ 1機能類型に応じた森林の管理経営

- ・これらの公益的機能を損なわないように行う木材生産や森林整備は、国有林に限ったことなのか。民有林に対してもこの考えが推進、指導されているものなのか知りたい。

○ 2適切な管理経営を目指して

- ・木材生産・造林において、伐期を長くしたり、生えている広葉樹や大径の衰退木をあえて残すなど、木材を得る目的だけに偏らない施策が欧州で重視されていると聞いた。日本ではどのくらい行われているのか知りたい。

IV 安心・安全な暮らしの実現

○ 2治山事業の実施

- ・現在、線状降水帯等を原因とする多雨量のため、山肌が崩れた山が多く存在している。民有地も含めてどのように対策していくかが課題であると感じる。

VI 獣害対策の推進

○ 1シカ被害対策の推進

- ・シカを中心とした食害がひどい。被害を減らすためには、もっと実行力のある被害対策方法と出口戦略(シカを食材として利用する)を合わせての行動が大事だと思う。

VII 「国民の森林」としての管理経営

○ 3(5)広報誌「グリーン四国」

- ・グリーン四国は毎回読みやすく、次世代の孫と楽しく目を通していますが、知名度が低いところももったいないと感じます。もっと四国の皆様に読んでもらうためには、市町などのコミュニティセンターなどにも配置していただき、その存在を知ってもらう必要があると思います。

その他

- ・2024年度より森林税が導入されるが、山間部(人口が減少している)に対して十分な予算が回されるのか気になる。都市部に多額の予算が配分される現在の制度はどうか。
- ・全体的に専門用語というか、林野庁内で使われているであろう言葉が多い。より一般的な用語を使用すべきでは？(例: 民国→官民)
- ・林業従事者が少なくなって、放置状態になっている山林が増加していると感じる現在、具体的にどのように事業実施をしていくかが見えてきません。

令和5年9月  
四国森林管理局 企画調整課